

太田東西かわら版 2011.8

「やる気」～何のための健康か？

我が家の二男坊（以下弟くん）は、現在高校2年生。

三者面談があるというので、太田東西（以下父）自らが参上することを決意！

15分前に着き、応接室に向かうと、すでに先生（以下先）がいらっしまった。

父VS先生。予定外の二者面談開始。

先「こちらが息子さんの成績ですが」

父「ああ～～」（-。-;）

先「自宅での勉強時間はどうですか？」

父「体こわすから、もう止めなさい！と言ったことはありません（笑）」

先「実力はあると思うんですけどね」

父「問題は、やる気、ですね。部活は一日も休まず、やる気満々ですもんね。

私、薬剤師なんですけど、治療が続かない人は、真剣に“健康になりたい！”

“元気になるんだ！”って思っていないことが多いんですよ。

先の夢がない、楽しみがない。これっ！という目標がないままダラダラ～と生活していると、健康の意識もダラダラ～となるんです。

いつまで続けられればいいんですか？と尋ねる人は、先の夢や目標がない。

いつまで勉強すればいいんですか？と、本質は同じだと思うんです。

この夢の実現には、健康が必要だ！ 資格を取るために勉強が必要だ！

となった時が、真のやる気が出た時ですね」

先「なるほど」

父「将来の夢を持って勉強している生徒さんはどれくらいいますか？」

先「全体の1割くらいでしょうか」

父「大半の生徒は“とりあえず”勉強しているということですか？」

先「そうですね」

父「先生方で人生相談のようなことはしていないんですか？」

先「いえ、していませんね」

父「何のために勉強しなければいけないのか？を見つけあげること、まずは大切だと思うんですが？ この年代の子どもは親の言うことは聞きませんから、親の立場では学校の先生にお願いしたいですよ」

先「なかなかその時間がなくて、ですね」

父「先生はこれからも学歴社会が続くと思いますか？」

先「と申しますと？」

父「資格などある程度の学歴は必要でしょうが、生きる力、生きがいを見つけることが重要になると思うんです。

競争社会、大量生産大量消費の経済優先社会も私は変わると思います」

先「確かに3月の震災以来、変わって来ていますね」

と、ここで弟くん入室。(すでに二者面談で15分経過)

先「これがこれまでの成績だけど、右下がりだね。頑張らないと！」

弟「はい...」

父「いいんですよ、先生。こんな過去の結果。もう片付けましょ。

(と言って、早々に折りたたむ)

下がったら、あとは上がるしかないから、トコトン下がればいいんですよ」

先(苦笑)

父「先生と話していたんだけど、やっぱりお前、夢を見つけることだな。

どこの大学に行くか？よりも、将来何がしたいか？だと思っぞ」

弟「それがわかんなくて」

父「結局そこなんだよな～。勉強にやる気が出ない原因は。お父さんが東京に行って薬剤師になろうと決めたのは、思えば高3の夏だったな。

ところで先生は、いつ教員になろうと決めました？」

先「お恥ずかしいんですが、教員になるつもりは全然なかったんです」

父「というと、高2の時は将来の夢がなかった？」

先「そうでしたね...」

形勢逆転、弟くん追い風が！ \ (^_^) /

先「いずれにしても、もっと頑張らないと！」

弟「は、はいっ...」

父「今回27位というのは、前回は29位だから

2つ上がったんですね」

先「いえ、今回は体育が入っているんですよ...」(体育でかせいだ、ということ)

| | 平均 | 学級順位 | 受験者数 | 期間授業日数 |
|--|------|------|------|--------|
| | 57.2 | 29 | 39 | 57 |
| | 59.5 | 27 | 38 | |

父弟「.....」 (_ i)

父「なかなか夢を持つ、見つけるって難しいですね。

ところで、先生はお子さん何人いらっしゃるんですか？」

先「長男が息子さんと同じ高2で、あと娘が2人います」

父「息子さん、将来の夢ありますか？」

先「プラプラしています」

父「先生も生徒には指導できても、我が子には難しいんですね（笑）」

先「そうです、苦労しています」

父「仕事と家庭の両立、先生も大変ですね」

先「はい、ストレスフルな毎日です」

弟「オヤジ、ここで仕事モードは止めてくれよ～～」

父「息子は他人とは違う仕事を見つけるために、迷い、悩んで、勉強にやる気が出ないんだと思っています。

お父さん、ボク、長崎県庁の公務員になるのが夢なんだ！ リストラもなく給与も退職金も安定しているし！ なんて言われても私は嬉しくありません。これだっ、これこそオレの進む道だ！とを見つけるまで、しばらく静観しようと思います。今日は先生、長い時間ありがとうございました」

面談予定15分が、二者面談含めて35分に。

司会進行役、父親…。閉会の辞、まで（笑）

太田東西、ひょっとして、モンスターペアレント？

いえいえ、子どもを信じていること。

進路を収入や名声など、世間の物差しで安易に決めてほしくないこと。

自分の進む道は、自分で納得して決めてほしいこと。

これが我が家の教育方針だと、学校に伝えたかったんです。

自分の道は、自分で決める！

そのために、大いに迷い、悩んで結構。

遠回りしても、回り道しても、時間はかかってもいい。

幸せに生きるということは、いつくになっても、「夢」「目標」「生きがい」を持って生きていくということですから。

学歴や資格はそのための一つ的手段に過ぎません。

他人の評価や世間の目を気にすることなく

「自己実現」ために、勉強は生涯続けるものです。

「おつかれさん！」と手を振って

弟くんは教室に戻って行きました。



太田東西ブログ

おなか周りの脂肪が...7月26日記事

いやあ～、困った....。

何がって？

これですよ、おなか周りの脂肪がね.....。(_ i)

久々に、禁断の“ハンドパワー”使ってみるか！

この脂肪を、被いたまえ～ 清めたまえ～
えいっ！！ \(*`´)ノ



ああ～ スッキリした～～ (-。 - ;)

あれっ？ (;)

な、な、なんか、首の下から出て来たぞ～～～！！



な～んだ、おなかの脂肪と思ったら

コザクラインコのイン君だったのね～～ (= =)

イン君、父の下着に潜り込んで

エサ(麻の実)と間違えるのか、愛情表現なのか

ち、ち、父の

ち、ち、乳首をつまむのです....。

いた～～～～っ！！ ((> <))

